# S S K A

1971 年 8 月 7 日第 3 種郵便物認可毎月1.6の日発行

2005年3月9日発行 通巻第5134号

### 全国パーキンソン病友の会会報

## 愛知県版18号編長機器博

#### 毎年よ彼岸の入りに寒いのは 子規

「もう彼岸だというのに寒いね」というと母が「毎年よ、彼岸の入りに寒いのは」と答えた。 子規は母のその言葉がそのまま俳句になっていることに気付いて、それを俳句にしたという。 彼岸の入りらしい季節感ですね。

お変わりございませんか。会報18号をお届けいたします。17年度の総会資料でもありますので総会当日、この会報18号をご持参ください。総会は先にお知らせしました通り

## 総会は平成17年4月23日(土) 黒川の名古屋市総合社会福

祉会館で開催します。なお総会につづきまして午後の医療講演会は、初の試みとしまして脳神経外科の梶田先生と脳神経内科の服部先生ご夫妻にお願い致しました。それぞれのお立場からお話をいただき、その後対談形式で進めたいと考えています。どうぞご出席くださいますようお願い申し上げます。

また、パーキンソン病講習会が4月2日(土)名古屋大学医学部で開催されますので 合わせてご案内致します。別頁の詳細案内をご覧ください。

当分の間、中島編集長に代って越澤が担当します。パソコン勉強中で、何かとご不便をおかけしますがお許しください。

#### 目 次

総会資	料·		•	٠.	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	~	5 P
先生に	会え	て良	カュー	った	•	梶	田	泰	-	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	6	~	7 P
国会請	願署	名と	募	金·	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	8 P
お便り	から=	=近?	兄幸	设告:	=	. ,	小	11	芳	夫	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• (	9 P
同	上					•	M.	M	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	0 F
元気を	もら	った	新	春の	つ	ど	V	•	藤	井	義	夫	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	1 P
会員の	皆様	とふ	れる	あっ	て	•	河	村	祐	貴	子	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	2 P
パーキ	ンソ	ン病	講	習会	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	1	3 P
会員全	員の	文集	を~	つく	ŋ	ま	し	ょ	う	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	4 P
寄付の	お願い	۸١.	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	5 P

## 平成 17 年度・総会と医療講演会のご案内

日 時 平成17年4月23日(土) 10時 ~ 15時

場 所 名古屋市総合社会福祉会館・大会議室 名古屋市北区清水町4丁目17番地1号 区役所・保健所と一緒の建物で、大会議室は7階です。 TEL. 052-911-3191 地下鉄・黒川駅下車・41号線を南に約10分です。

日 程 10時~10時30分 活動経過報告・収支計算報告・本年の活動計画

10時30分~11時 体験談・大野志ヅ子、服部 国生

11時 ~ 13時 懇談・昼食

13時 ~ 15時 会長の体験談・医療講演会

## 医療講演会・DBS 手術について

講師 名古屋大学医学部・脳神経外科 梶田 泰一 先生 本町クリニック・服部神経内科 服部 達哉 先生 同 上 服部 優子 先生

申 込 4月15日(金)までにハガキでお申し込みください。家族、付き添いの方の参加もお待ちしております。昼食は1000円でご用意します。 出席申し込みのハガキに住所・氏名・参加人数・昼食の有無(数)をご記入ください。申し込みされなくても当日の健康しだいで参加されても結構です。この場合の昼食は各自でお願いします。

### 申込先 郵便番号458-0847 名古屋市緑区浦里 1-68-508 越澤 博

### 16年度・活動経過報告

#### 越 濹 博

友の会の催しに参加される方も、参加はむずかしいが会報を楽しみにされておられる 方も、家族の方に会報を読んでいただいておられる方も、それぞれの立場で友の会を発 展させていこうという熱意に敬服しております。

1. 4月17日 東別院ホールで総会と医療講演会

丹羽会長は日ごろ「友の会は善意と任意で成立し、会員の生活は希望と勇気を基として、積極的にあくまでも楽観的にお暮らしください」と述べておられます。善意とはボランティア精神、ボランティア活動であり、任意とは自分に出来ることを通じてこの友の会へ参加することで、自分から話しかける積極さがこの友の会の原点であります。

医療講演会は愛知医科大学の佐橋功先生の「神経難病と生きる」と題してお話しをいただきました。

2. 5月27日 名古屋市水族館で一日交遊会

良いお天気に恵まれ楽しい一日でした。水族館のレクチャールームで館員の堀井さんが私達の質問に答えてくださいました。特に記録しておきたいことは、水族館には南館と北館があり、南館のテーマは南極への旅・北館のテーマは35億年遥かなる旅=シャチやイルカが再び海に戻った旅。

広さは一辺が100メートルの正方形二つ分に相当するとのことです。

イルカのジャンプには心から楽しめたと思います。

まさに「七頭のイルカのジャンプ夏来る」でした。

午後の交遊会は潮風広場で伊藤さんの司会よろしきを得て充分楽しく過ごしました。 パーキンソン・ホームの話しなどもでていました。

3. 10月23・24日 一泊旅行

南知多老人福祉館・ビラ・マリーン南知多で行いました。湯遊ゾーンというのがありまして11種類の浴槽があって温浴を楽しみました。心身ともにリフレッシュできたと思います。夕食後は大野さんの司会で近況を話し合いました。

4. 会報の発行

14.15.16.17.18号を発行しました。

- 以上が年中行事でありまして、この他16年度にはパーキンソン・ホームの開設、福岡 全国大会、全国役員会(会長が全国パーキンソン病友の会副会長に、則竹さんが役員 に就任したため)、新潟県中越地震災害義捐金、国会請願署名運動などに取り組みまし た。
  - \* パーキンソン・ホームはなかなか参加が困難なようですが、何時でもこのような 集いの場が用意されているということで、日々の生活に張り合いがでるのではな いでしょうか。

## 平成 16 年度 収支計算報告書

本年から予算編成時に支出明細を付さないことにしました。決算数字は下記の通りです。

期間 平成 16年3月1日~平成17年2月28日

単位:円

期间 十八 10 千 3	7 IU TRAIL	+ 2/3 20 🖂	
繰越金	129. 983	会議費	. 129.890
会費	1. 134. 400	交通費	121. 280
愛知難病基金寄付	100.000	通信費	205. 228
犬山成田山寄付	180. 000	消耗品費	52. 458
会員寄付	337. 000	印刷費	377. 960
雑収入 会報売却	15. 500	全国友の会会費	300. 200
		愛知難病連会費	58. 640
		その他支出	210. 266
		全国総会関係費	182. 759
		支部総会関係費	34.000
1 1		次年次繰越金	224. 212
計	1. 896. 883	āt	1. 896. 883

★寄付 パソコンセット1式 25万円相当

多くの方にご寄付していただきましてありがとうございます。**任意と善意**が、この会の基本方針です。入退会自由、活動行動は、すべて会員の皆さんの意思に任しております。志のある方は、今年もぜひご寄付をお願いします。

尚、平成 17 年度予算に対して、O さんから 1 0 万円、N さんから 1 0 万円、S さんから 3 万円、S さんから 1 万円の寄付の申し出でをいただいております。

平成 17 年度の収入見込みは、繰越金 1 3 万円、会費収入 110 万円、寄付金 50 万円の合計 173 万円とします。

愛知県パーキンソン病友の会

会長 丹羽浩介 殿

# 監查報告書

愛知県パーキンソン病友の会・平成 16 年度の会計を監査さしたところ、記載されている事項と帳票類、預金通帳との間には矛盾なく正確に使用されています。

平成17年3月3日

監査人 中島陽太郎



## 17年度・活動計画

越 澤 博

前年度の活動を継承し、さらに「任意と善意」の組織原則を以って臨みたいとおもいます。

#### 1. 組織の強化

本年度は全国パーキンソン病友の会で、会員10000人をめざしています。 愛知県でも会員300人をめざして活動したいと思います。各地の保健所でも難病 対策に意欲的に取り組む姿勢を感じます。患者・医師・行政と連携して進めたいも のです。

- \* 岡崎市・豊橋市・半田市等で医療講演会を開催し、会員の増加をはかります。
- \* それに対応すべき友の会役員を増やしたいと考えますので、ご協力できる方ぜ ひお願い致します。
- \* 年末の国会請願署名運動には、毎年ご協力いただき感謝申し上げます。本年どうぞよろしくお願い致します。

#### 2. 財政の確保

年会費5000円と寄付金で賄っておりますが、本年もできるかぎり寄付をお願い申し上げます。

3. 会報の発行

本年度は奇数月発行をめざします。ご投稿をお願いします。 会報でおしゃべりをお楽しみください。

- 4. 総会・医療講演会の実施
- 5. 岡崎市・豊橋市・半田市において医療講演会を行い会員を増やすよう努力します。
- 6. 一日交遊会・一泊旅行の実施
- 7. パーキンソン・ホームの継続
- 8. 国会請願署名運動

#### 本年度の役員

会長 丹羽 浩介 (愛難連会長兼務) 会長代行 則竹 昌常 愛難連 山尾 武 事務局 越澤 博 中島陽太郎 肥後ひとみ 山尾佐知子 鈴木たか子

> 大野志ヅ子 本田 定男 江頭祐一郎

# 先生に会えて良かった

名古屋大学脳神経外科 据 田 泰 一

昨年来、お父さんが、子供さんを強く、愛おしく抱き締めた映像のバックに、オフコースの音楽が重なる TV コマーシャルが流れていました。「あなたに会えて本当に良かった。うれしくて、うれしくて言葉にならない。」の詩が、何かしら心を打ちます。後から、ダウン症の子供さんとともに、短かったけれども輝かしい人生を過ごされたご両親のお話を知りました。「会えて良かった。」には万感の思いが詰まっていました。「会えて良かった。」を英訳すると「nice to meet you」。「こんにちは」と初対面の人のあいさつがわりです。同じ言葉なのに、伝えたい気持ちに、随分差があります。あなたが言われた「会えてよかった。」は、どちらでしょう?言葉の奥深さです。

さて、先日、友の会の皆さんとお話する機会がありました。病院の外でお話することは大変、有意義でした。和やかな時の流れでした。私もいろいろな病気を抱えています。ひどいめまいで他の病院にかかれば、私は患者です。私が、名大病院で手術をするときは、脳外科医師です。でも、病院から一歩でれば、私は?皆さんとお話をして、こんな簡単なことを再確認しました。本当は、病院の内

皆さんとお話をして、こんな簡単なことを再確認しました。本当は、病院の内 外は関係ないのかもしれません。病院の内でお会いしても、医師と患者の立場 になるのは固定観念なのかな。そんなことも思いました。外国では、外来が病 院の外にあることがあります。事務所のような感じです。きっと、もっと全人的に 相談できるかもしれません。2時間弱、いろいろなお話をしました。一番、驚いた のは、「パーキンソン病の患者さんで、満足な治療を受けている人は1割しかい ない。」という話でした。私の周りの脳外科医は、みんな、一生懸命患者さんの 治療にあたっています。脳卒中や頭部外傷で夜中に呼び出されても、文句を 言わずに、夜を徹して手術します。患者さんが、うまく回復していただくことも あります。でも、懸命に努力をして最善を尽くしても後遺症が残ることもありま す。その苦労が報いられていないのかな?と思います。きっと、些細な行き違い があるのだと考えます。適切な専門医が、患者さんを診させていただくことが、 信頼回復の一つになると思います。そこで、多くの人に適切な医療を、専門医 に診ていただくために名古屋大学脳神経外科が始めている新しい試みを紹介 します。名古屋脳卒中救急医療ネットワークシステムです。「いつでも、だれでも、 どこでも」適切な治療を受けることを目標に、文部科学省の地域貢献特別支 援事業として設立されました。脳卒中の治療は、画像診断、医療技術の進歩に あわせてずいぶん変わってきました。一昔前のように、脳卒中と思われたら、

「寝てさらに悪くならないようにする。安静が一番」という時代ではありません。脳梗塞が発症から3時間以内に診断できれば、マイクロカテーテルを使って、詰まった血栓を溶かして完全に治すことができる可能性があります。ただ、そのような治療が、脳梗塞の全ての患者さんに行う必要はありません。また、どこの病院でもできる治療ではありません。医療が進歩するとこのように、多くの病院で、患者さんと治療にミスマッチがあります。この脳卒中救急医療ネットワークは、名大病院、センター病院、専門病院、一般病院がネットワーク化されて、急性期の医療情報が、名大やセンター病院に集約され、医療支援がなされます。最初の病院に専門医が不在でも、必要に応じて、センター病院に転送され、最適な医療が享受できます。パーキンソン病患者さんの治療にもこのようなネットワークシステムを応用したらどうでしょう?近くの先生に診ていただきながら、必要に応じて、ネットワークを使って専門医の先生に相談できるようになります。そうすれば、きっと、信頼できる先生にみていただいる機会が増えるのでは?「先生に会えて良かった」と言っていただけるかも?

### 梶田医師の原稿を読んで

### 丹羽浩介

名古屋大学脳外科梶田医師との一種の懇談会は昨年秋に友の会事務所で開くことが出来ました。梶田医師は長身の魅力のある方です。文中太字にしてあるところとは私がいったものを受けて書かれたものです。この1割と言う数値は会員の実態や電話相談を通して感じた体験上の数値です。これに関連して平成17年1月26日付け読売新聞は国立精神・神経難病センター副院長久野貞子医師の話として、全国に約4000人いる神経内科専門医のうち「この病気に詳しい医師は200~300人程度」と報じています。久野医師はこの道の大家としてつとに有名ですが、私より更に厳しい見方をしています。私の感じていることや久野医師の見解から言って全国的に専門医が少ないことは歴然としています。今治療を受けていてお困りの方、連絡してください。相談に応じます。直接電話頂いても不在が多いので下記の方法を取って下さい。

- ① 事前に葉書を下さい 477-0031 上浜田 61-4-615 丹羽浩介
- ② FAX 0562-32-4518 電話なら午後7時以降にして下さい
- ③ koutyan1939@ybb.ne.jp 件名に「友の会用件」と明記してください

### 国会請願署名と募金ありがとうございました

おかげさまにて1,353名の署名と266,250円の募金をいただきました。ご協力ありがとうございました。

,	•			
青柳 保夫	浅野 いく	伊藤加津子	伊藤つぐみ	伊藤 勉
糸見喜久枝	岩澤 興一	岩間 厚見	卜部登美子	江頭祐一郎
太田 浩子	大野志ヅ子	岡村をさゑ	小川 吉郎	小川 茂
加賀久仁恵	梶田喜美子	加藤登	神取 章	苅谷みつ子
川津 利子	岸 弘	北河 徳保	貴田 文江	木村 芳子
口田 久子	越澤 英子	後藤 光子	小山美智子	近藤喜代春
近藤 五郎	近藤 繁子	鷺坂 輝子	眞田多實夫	塩田 初枝
神野 由美	鈴木たか子	清野 行夫	鷹羽  貢	竹村まき子
手穂きよみ	篤永 章子	中山 昭	永渕 宏司	新田 早苗
成松 幸江	西村美代子	丹羽 浩介	野村 純子	肥後ひとみ
平野 伊尹	深萱 勇	堀江 トモ	本田 定男	前田 正史
正木 成子	益田 緑	町屋敷すみえ	松下 孝	三浦 育朗
水野 輝美	光川 明男	宮地泰一郎	森川おじょう	森島 邦子
八野 健蔵	山尾佐知子	山本 奉孜	山本 芳夫	吉田みち子
河合 武雄	小島 芳夫	則竹 昌常		

(以上73名・敬称略)

## 17年度 会費納入のお願い

総会終了後、17年度の会費をお送りください。 事務手続上、定額小為替(通称・小為替)でお送りくださると便利でありがたいです。次の要領でお願いします。

- 1. 郵便局で5,000円の小為替をおもとめになって、その小為替には何も 記入しないで封筒に入れてお送りください。
- 2. 封書の差出人は会員ご本人のお名前をご記入ください。
- 3. 宛先は会計係 越澤 博にお送りください。

郵便番号 458-0847

名古屋市緑区浦里1-68-508 越澤 博

## お便りから =近況報告=

豊川市・小川 芳夫

梅の花もほころび春めいて参りました。

日頃御世話に相成り乍ら御無沙汰申し訳ございません。皆々様には御健闘の毎日と存じ 上げます。芳夫の最近の状態を少し申し述べさせていただきます。現在78才です。

50才の始め頃、字が左の方向に曲がったり、ペンがうまくにぎれなかったり(若年性になりますか?)お金がうまくにぎれなかったりが始まりで、68才頃、地域の保健婦さんに手のふるえを見られ、神経内科に行く様すすめられ、そこでパーキンソン病と即座に診断されました。その時の薬の副作用が、吐き気が強くて、服用中止を勝手に行い、半年位のうちに症状が進み、中部病院の神経内科が良いことを、色々情報手段で知り、PETでパーキンソン病が確定し、色々薬を変えたり、入院したり、その間肺炎で死のせと際まで行ったりで、現在(長寿医療センターと改名)月一回、家族一人、ヘルパーー人連れて、名鉄電車、タクシーを利用(交通費、一万円以上かかります)して通院して居ります。

現在、介護保険で週4,5回以上デイサービスを利用させてもらい、入浴・昼食・オヤツ・運動・娯楽と、皆さんと楽しく過ごさせて頂いています。(車で送り迎え)家族は助かります。

朝は寒い季節のせいか、状態悪く、起き上がりも腰を掛ける事も出来ず、後ろに倒れ そうになるのをこらえ、朝食をなんとかすませ、着替えを苦労しながら人にしてもらい 便秘薬を使ったり、デイサービス(お迎えの時間・9時半ごろ)に出掛ける前の家族は 一苦労です。その家族も78才女性、看護の苦労で背骨は圧迫骨折で背は曲がり、肩・ 腕、ケンショウ炎と五十肩で整形のリハビリへ週二回通っています。この寒い折は風邪 を引かせないこと家族も引かないことを精一ぱい頑張っています。

二月の末に特定疾患医療給付事業新規申請書を提出するよう医師から教えられ、必要な書類を保健所に初めて提出しました。良い医師と良いお薬で現在、何とか過ごして居りますが。今後、介護保険の行方がどうなりますやら、不安の中で過ごしております。 友の会の皆々様には病気を抱えての御世話、大変と思いますが御身御大切に、よろしくお願い申し上げます。

丹羽様も御身お大切に御健闘をお祈り申し上げます。先づは御礼方々お知らせ申し上げます。

丹羽 浩介 様

三月一日

小川 芳夫少々ですがカンパさせていただきます。署名もおそくなりました。

### = 近況報告=

名古屋市 M·M

私は68歳です。パーキンソン病との付き合いは13年目をむかえます。

現在、一週間に3日は体育館に通い、汗を流しております。私のパーキンソン病の発病と前後して完成しましたので、親しみを覚える建物です。施設および器具が大変に完備されているとおもいます。家から徒歩15分程度の距離にありますので大変に便利です。

トレーニング室には、ダイエットを目標に来る常連の女性も多いです。また、年配の 男性は、体力の衰えを防止する為、汗を流しております。私は筋固縮を防止する為、自 転車コギを始め12~13種類の器具を使って運動しております。

私がパーキンソン病の症状で最も苦労をしておりますのは、言語障害です。筋力運動は、筋固縮の進行を遅らす事に、一定のリハビリ効果があったとおもいます。言語障害には効果が薄い・・・・・

言語障害は、第一声が出ない為、人々とコミュニケーションが大変難しく、他人様に ご迷惑を掛ける事があります。

皆様の中で良い方法をご存知の方がありましたら教えてください。

13年間で、病院をT医院・・・Iクリニック・・・N 脳神経外科(または内科)の専門医の診察を受け、何れもパーキンソン病と診断されました。

特定疾患医療費給付事業の申請も「I クリニック」の指導で手続きをして認可され、 医療費の支払いに大変助かっております。

現在、薬物治療をしており、一日に6種類22錠の薬を服用しておりますが、副作用の症状は出ておりません。言語障害以外の症状は弱く、日常生活には特に影響はありません。

2004年度の治療費は(名古屋市千種区役所年金課)

国民健康保険 診察料:209、000円

薬 代:551,000円

自己負担: 44,000円 計 804,000円

自己負担は、特定疾患医療給付事業および国民健康保険からの援助で5.5%になっています。 以上

# 元気をもらった新春のつどい

滋賀県 藤井 義夫

1月29日の滋賀県支部の新年会にご出席くださり有難うございました。私は丹羽さんのお話を聞き、そして丹羽さんの本を手にして家に帰って読ませていただき、大変感動しました。私もパーキンソン病と宣告されて 14 年になりますが、とかく心が病気に押し流される気分になりがちです。その時の感激を書きました。

今年の新春の集いは、来賓の紹介、会員と家族の近況報告で始りました。共通することは、「よだれがひどくなった」「すり足で歩き良く転ぶようになった」「手足の震えがひどくなった」「便秘がひどくなり、浣腸に頼る回数が増えた」「この会への参加も家族の支えがないと来られなかった」と言ったものでした。

このようにパーキンソン病に負けずに頑張っている仲間の闘病生活を聴いておられた愛知県からご出席の丹羽浩介さんは、自分の体験をまとめたご本を手にして、病気と闘う苦しみを語られました。丹羽さんは、過去に多くの病気を克服されたように「パーキンソン病は必ず克服される病気である」と言う確信を日常生活のよりどころにして生活することの大切さを切々と話されました。肉体的な鍛錬と同時に精神的な闘病の目標を各人が持つことの必要を感じました。

私も丹羽さんの訴えを聞いて、日常生活で病気にまけない生活をおくるために、しっかりした計画を立て、家族に頼ることのない生活を送ろうと決意しました。

■ 私は、60年前の終戦の時にソ連と満州の国境にいました。1ヶ月近く逃亡行軍を 続けてからのち、日本の敗戦を知らされずに昭和 33年まで中国で民主主義運動に 参加していました。帰国して、新しい日本、新しい社会を目指して頑張ってきただ けに、病気に負けずに日常生活に打ち込まなければ、と決意を固めています。丹羽 さんの本はそのことを学ぶ上で大変参考になりました。

滋賀県の藤井さん、大変なご苦労をなさったのですね。丹羽会長が「希望と勇気」といつも言っています。特効薬が出来る日まで決して、くじけず、明るく、元気で楽しく頑張りましょう!!

肥後

# 会員の皆様とふれあって

名古屋大学医学部保健学科作業療法学専攻 3年 河村 祐貴子

私は、名古屋大学の学生です。作業療法士を目指してリハビリテーションの勉強をしています。

この度、丹羽浩介様に卒業研究の調査協力を依頼しましたところ、快く承諾してくださり愛知県支部の事務所に何回か足を運ばせていただきました。(該当者の皆様、先日はアンケートにご協力いただきまして、本当にありがとうございました。)そこには、まだ学生の私が今まで出会ったことのなかった「患者会」の実態がありました。率直な印象は、明るく楽しい仲間、といった感じでした。新参者の私を排除することなく、暖かく優しく迎えてくださいました。会話に発信者として関わることは難しかったですが、受信者として会員の皆さん同士の生の声を聞かせていただきました。

「病気を患っている」と強く意識して、自分の可能性の芽を自分で摘んでしまいな

がら生活する必要は無いと思いますが、同じできまう者同士、より理解しあうことができ、励ましも素直に受け入れられるようなるを思います。患者会で得られると思います。患者となってはいるです。ということをあるということです。 医師はただ治療 にとってよきない また傷つけられるごともありるということです。 医師はただ治療 にいるだけでなく、患者さんと触れ合う時間



中で、患者さんの身体に対してだけではなく、心にも強い影響を及ぼしているのです。 人と人が関わるのだから、当たり前のことなのですが。私の目指している作業療法士 も医師と同じく医療サービスを提供する職種の1つです。そう書くと、一歩退いて見 てしまう方もいらっしゃるかもしれません。しかしそうではなく、遠慮なく自分の思 ったことを言ってもらえる、溝の無い関係の築ける作業療法士になりたいと思いまし た。医療従事者の立場にばかりいると、それに気づくのは難しいことで、そう思えた のも皆様との交流があったからだと思います。

面識のない集団に一人で入っていくことは、勇気のいることでしたが、勇気を出してよかったです。そう思える良い出会いでした。これからも、よろしくお願いします。

# パーキンソン病講習会のご案内

名古屋大学神経内科と愛知県内の関連 10 病院では、パーキンソン病の診療の充実と、 発症や進行に関連する原因の解明を目的として、定期的なアンケート調査を行っています。 今回、これまでのアンケート結果の報告と、アンケートから浮かび上がった諸問題への 対応方法に関する講習会を開催いたします。講習会終了後には、時間の許す範囲で質問に お答えしたり、皆様同士が話し合あったりする場所を提供する予定です。

多数の参加をお待ちしております。

日 時 2005年4月2日 (土) 午後13時から16時

場 所 名古屋大学医学部基礎棟 3階 第 1 会議室

費 用 無料。資料は先着 100 名の方にお渡しいたします。

対 象 パーキンソン病の患者様、そのご家族等

内容・パーキンソン病治療の進歩 祖父江元

・アンケートから得られたデータの紹介 渡辺 宏久

・パーキンソン病治療の問題点とその対策 平山 正昭

·Q&A、ピアサポートなど

会場は赤矢印の建物です。当日は、警備員室で会場への案内図を配布します 警備員室は、夜間出入り口(白矢印の先)を入ってすぐです。



お問い合わせ 名古屋大学神経内科 担当者;渡辺宏久、熱田直樹、伊藤瑞規 052-744-2391 (平日 午前9時30分〜午後4時30分)

# <u>募</u>集

友の会全員参加の文集を作りましょう

近況報告・手記・随筆・詩・短歌・俳句・川柳その他なんでも結構です。 書くことの不自由な方はカセットテープに吹き込んでいただいても、面談 でもかまいません。

字数は特に限定しません。

今までに書いている人も、まだ書いたことの無い人も、今回書いてください。 い。会員・会員の家族・賛助会員等、皆さん書いてください。

作品の募集期間 平成17年3月末日

自分の書いたものが活字になる。楽しいことです。みんなで作りましょう。

原稿送付先

郵便番号458-0847 名古屋市緑区浦里1-68-508

越 澤 博

TEL 052-891-3482

# 寄付のお願い

16年度の収支報告書にみられますように60万余円の寄付をいただいて活動しております。本年度は全国パーキンソン病友の会で会員一万人を目指しております。愛知県でも300人を目指して活動したいと思っています。本年もぜひご寄付をお願い致します。

# 本町クリニック・服部神経内科

院長:服部 達哉 副院長:服部 優子

郵便番号460-0008 中区栄3-20-29 電話 052-249-0101

診察時間 午前9:30~12:30 午後3:00~6:30

休診日 木曜日 日曜日 祝日 土曜日の午後

## (有) メディカル在宅マッサージセンター

郵便番号453-0851 中村区畑江通8-18-1 電話 052-483-3388 第2第4土曜日・日曜日・祝日休み フリーダイヤル 0120-194001

広告代として多額のご寄付ありがとうございます。

1971年8月7日第3種郵便物認可(毎月6回 1の日・6の日の発行) 2005年3月9発行 SSKA 通巻5134号

# 雜記帳

- \* 初めての会報づくりで、またパソコンに慣れていないものですから大変でした。 読みづらいところはご勘弁ください。
- \* 今年度は奇数月に会報を発行したいと思っています。どうぞ原稿をお寄せください。体験談・療養生活・文学作品・旅行記等何でも結構です。おしゃべりするつもりでご投稿ください。
- \* 先に「皆さんのお便りを募集します」とお知らせしましたが、今のところ3人の 方から応募がありました。できれば全員の作品を冊子にしてお配りしたいと考え ています。何か一言でいいですから全員の方のお便りをお待ちしております。
- \* 4月2日のパーキンソン病講習会・23日の友の会総会には、ぜひご出席ください。お待ち致しております。
- \* 3月はじめ、あの元気な会長の丹羽さんが体調をくずされ、また会長代行の則竹さんもお休みです。どうぞ、みなさまお体を大切にお過ごしください。 (博)

発行人 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

TEL 03-3416-1698

FAX 03-3416-3129

編集人 愛知県パーキンソン病友の会 越澤 博

TEL • FAX 0 5 2 - 8 9 1 - 3 4 8 2

同 上 事務所

 $TEL \cdot FAX = 0.562 - 3.2 - 4.518 (4.590)$ 

郵便振替口座 00830-2-50411

加入者 愛知県パーキンソン病友の会

頒布価格 500円